

(2面から続く)

なさまざまな事情を考慮して、一律削減ではなく、一定の条件を満たした場合、例えば週3回人工透析を受けている方には加算をして支給するなど工夫しています。本市においても、適正な見直しによる削減は仕方がないものの、一定の条件を設けて別メニューで補助するなど、丁寧な対応が



市長の政治姿勢について

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

鳩山前政権が沖縄の米海兵隊・普天間基地問題などでの「公約違反」と「政治とカネ」の問題で責任を問われ、菅政権と交代しました。この突然の政権交代について地方自治を担う市長の所見を伺います。日本創進党の関係について、中田宏前横浜市長や全国の自治体首長らを発起人として、政治団体「よい国つくろう！日本志民会議」を軸とした日本創進党が結成されたが、市長は「日本志民会議」の政治委員に名を連ねています。新党との関係、政治信条について伺います。

必要であると考えますが、所見を伺います。保健福祉部長 ご指摘いただきました各事業については本年度見直しをさせていたいただき、2カ月が経過したところですが、まずは今後の動向を見たいと考えています。横浜市、川崎市等の事例につきましては、今後の参考にさせていただきます。

34人となって公表されてしまっています。保育園が足りない中、民主党政権は、地方分権と相まって最低基準廃止や緩和の判断を保育所実地自治体に委譲する動きを早めています。これは最低基準を下回る保育所を増やすと同時に国の財政責任の放棄とも言えるべき、一括交付金への道を開くもので、民間保育園への補助金も交付金扱いにするという意図も含まれています。保育制度を改革するならば乳幼児の置かれていく現状を捉えた上で子どもの権利保障を第一に位置づけ、国と市町村の責任を明確にし、子どもの最善の利益を保障する保育のあり方を共有し、当



子どもが自ら育つ力をはぐくむ次世代育成支援を

安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

3月に出された次世代育成支援行動計画において、子どもの健全育成、学校教育環境の整備、家庭や地域の教育力向上等さまざまな施策が展開されていますが、それらの中に子ども自らが企画運営に携わる事業や意見表明をする機会、子ども達の社会参加を進める施策はあまり見受けられません。次代を担う子ども達の育成に当たっては、子どもが本来持っている自ら育つ力をはぐくむ自立支援というものを根幹に進めていってほしいものです。居場所づくりに関する居場所だけでなく、子ども達自身の役割や意思表示の機会をふやしていくことが必須であると考えます。その上で、居場所としての遊び場という課題についてプレーパ

事者の参画による議論を進めることが大事です。本市は、待機児解消対策を進めるに当たって、安心して働きたいという保護者の願いを支え、老朽化の進んだ公立保育園を拡充する立場で具体的に建替えを検討し、さらに必要な数の認可保育園を整備することです。ご所見を伺います。

市長 国は子ども手当について、現行の1万3千円の給付と、それを超える部分について待機児解消の関係などの施策の面で考えていきたいという趣旨の話をしています。今後、国の取り組みを注視しながら市としての対策について考えていきたい。



基地返還予定地に「ごみ処理施設」を

沖永 明久 議員《市民連合》

キャンプ座間部分返還地の利用計画について、私の意見を申し上げます。基本原則は、返還地の全てを座間市民が活用できること。財政的負担を最小に抑えるため国からの無償譲渡、無償貸付とすること。具体的には活用案として高座清掃施設組合の焼却施設及び付帯施設の移転を提案するものです。理由の第一は、高座清掃施設組合の焼却炉は、2018年を目途に施設更新が検討されていますが、海老名市本郷地区の住民の方々へは長年にわたり大きな負担をかけてきており、その解消と負担の分かち合いが望まれること。第二には、国有財産法では無償貸付の対象としてごみ処理施設があり、資源循環型社会の形成という国家目標とも合致すること。

第三には、組合施設を移転することになれば、温水プールなど本市において未整備である公共施設を整備することができること。第四には、建設コスト、維持費は組合の分担金等で賄うため本市にとつて財政的なマイナスがないこと。以上、返還地に係る財政的負担を軽減し、市民にとって必要なインフラを整備することができると考えるものです。市長の所見を伺います。

市長 現在、高座清掃施設組合として、海老名市本郷地区の皆様には、平成30年までの継続使用、さらに了解をいただいた後には新施設の建設についてもご理解いただきたいと話し合いを進めているところであり、私の方では議員お示しのような考え方については持ちえておりません。



知恵を絞りキャンプ座間 遊休地の活用策を

安斉 昭雄 議員《明政会》

10年前、故吉田、故飯島、久保田、和田、私を入れて5人の議員で、普天間市の基地行政について視察をしました。住宅地の真ん中に飛行場がある現状に、だれも文句を言わないのかと尋ねたところ、「既に何回となく米軍とも交渉しているため基地が存在している」との説明でした。地主には1反当たり200万円の補償料が支払われていて、多い方では6000万円の地代を受け取っているとのこと

した。さらに、基地が返還されても原状に戻すには2500億円の費用がかかるので、普天間市の担当者は「不可能な話である」とのことでした。また、その翌日に視察をした読谷村では、日本で初めて黙認耕作地にサトウキビを栽培しており、相当の恩恵を受けているとのことでした。さらには、黙認耕作地の上に庁舎を建設したところ、アメリカからいつ建物の取り壊し命令が来るか心配だったそう

日) 竹市信司(市民連合)、安海のぞみ(神奈川ネット)、中澤邦雄(日本共産党) 討論(6月28日) 安海のぞみ(神奈川ネット)、柏木育子(日本共産党)、竹市信司(市民連合)



認可保育園整備で 待機児解消を!

柏木 育子 議員《日本共産党》

本市の待機児は、今年4月1日現在、0歳から2歳児が82人で3歳児以上をあわせると本当は計104人のはず

す。しかし、希望した認可保育所に入所できなくても、無認可保育施設に入所すれば、その人数は除外され待機児は

本会議の概要

- ▽ 6月3日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、報告上程・質疑、議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論)省略・採決
- ▽ 6月10日 一般質問
- ▽ 6月11日 一般質問
- ▽ 6月14日 一般質問
- ▽ 6月28日 委員会審査報告、質疑・討論・採決、継続審査案件上程、基地対策特別委員会中間報告・質疑、第4次総合計画特別委員会中間報告・質疑、追加議案上程(提案説明・質疑・委員会付託・討論)省略・採決、閉会

- なお、総括質疑、質疑及び討論は次の議員が行いました。
- 専決処分に対する質疑(6月3日)
 - 守谷浩一(日本共産党)、竹市信司(市民連合)
- 総括質疑(6月3日)
 - 竹市信司(市民連合)、柏木育子(日本共産党)
- 報告に対する質疑(6月3日)
 - 竹市信司(市民連合)、安海のぞみ(神奈川ネット)、中澤邦雄(日本共産党)
- 討論(6月28日)
 - 安海のぞみ(神奈川ネット)、柏木育子(日本共産党)、竹市信司(市民連合)

